



TITLE:

雑報/ 岡山支部三月通信

AUTHOR(S):

---

CITATION:

雑報/ 岡山支部三月通信. 天界 1924, 4(40): 165-165

ISSUE DATE:

1924-04-25

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/160057>

RIGHT:

## 雜報

### ライド彗星(一九二四a)發見

ケープのライド氏は、三月三十日六時〇七分七に左の位置に一彗星を發見せり。

赤經 二時五八分一九秒八

赤緯 南三三度三分一六秒

日差 赤經 三分三二秒増  
赤緯 三〇分北

されど我國にては當分觀測の見込みなし。

### 海洋氣象臺の十時赤道儀

去る三月二十四日同臺の關口技師を何つて十時を拜見した。自分の調べただけ記する事にする。

製造會社は英國ヨークのクック社 J. Cooke & Sons. で口徑十時焦點距離十四呎で赤道儀は所謂クック型である。

アイピスは 1.5, 1.0, 0.65, 0.4, 0.3, 0.25, 0.2, 時の七つが附屬し Sun diagonal, Solar diagonal がついて居る。對物レンズは二枚合威である。

フアインダーは三時半 F. V. レンズで大きいがいちよいと大き過ぎる様に思はれた。

寫眞レンズとしてクック triplet で口徑四時焦點距離二十七、三時 F. 6.8 でゾーントンカビネ取枠がついて居るが F. 6.8 は銀河や彗星寫眞には可なり困難だらうと思ふ。此の有名な天體寫眞レンズは日本には唯一なものである。

十時にはバルローレンズで擴大するフオーカルプレインシャッター付きの太陽寫眞カメラがつき星スベクトル寫眞用として口徑六時の對物プリズムがついて居る。

器械全部として最新式のものであると確信する。何れ關口氏より詳細なる寄稿ある筈。

NK 生記

### リオ天文臺の十八時望遠鏡

ブラジル國リオデジャネイロ天文臺の十八時望遠鏡が完成された。製造者は英國パーミシガムのクック、ツロートン、シムス社である。

クック社では一八九四年口徑十二時半の望遠鏡一九〇九年には十二時の Photo-Visual の望遠鏡(八吋案内望遠鏡付)を同臺の爲に作った。

今回の十八時は焦點距離二十一呎四時で口徑十時焦點距離六十七時のクック三枚レンズの天體寫眞カメラ二個(プレートの大きさは二十四センチに三十センチ)及び十時の案内望遠鏡がいて居る。附屬品としては糸線測微器一個及びロンドンのアダムヒルガー製の天體分光器及びプロミネンス寫眞儀及び五時フアインダーを備えて居つて極めて完備して居る。

赤道儀は所謂クック型の堅實なもので時計には Tenthium Control がついて居る。ドームは徑は三十尺十一トンある。同じくクック製である。

### 岡山支部三月通信

一、天界研究會 八日宮原幹事宅にて開會。  
二、名譽會員 宇屋荒美雄氏は三時望遠鏡購入費を寄贈せられたので、名譽會員に推薦されず。

三、森測候所長 和歌山縣測候所長から本縣測候所長に轉任された森直藏氏は熱心な同好會員で今後は當支部の爲めに大に盡力した下さる筈なので喜んで居る。

四、展覽會に出品 四月開會せられる岡山縣青年文化展覽會に星座一覽表、星圖等を出品した。

### △五月例会

五月十八日(日)午后二時より大津石場藤井氏別邸内藤井天文臺にて開催の豫定。

